

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習事業に関する企画立案相談事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習事業に関する情報提供や相談を希望する市民	意図	生涯学習に関する情報の提供、相談窓口を開設する。
事業内容	市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習専門員による各種情報の提供及び相談窓口（月1回）を開設する。 市内小中学校、PTAとの協働による「家庭教育講座」の開設にあたり、講座テーマ、内容、講師等に係る情報を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	60歳以上を対象とした生涯学習の場「ゆうゆう大学」の在校生から、卒業後の生涯学習に関する相談が増えている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① ゆうゆう大学開設数	135	135	147	回	→→	
	② 家庭教育講座	15	15	21	回	→→	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				809,800			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				809,800			
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)				0.10			
人役・臨職(人)				0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	生涯学習の相談に応えられる資質向上を図るため、職員をはじめ生涯学習専門員の各種研修会への参加機会を増やす。	③取組の課題	「ゆうゆう大学」学生をはじめ、市民の生涯学習への意欲が高まる中、常に受講者目線で相談に応じ、適切な情報を提供することが求められる。
②今年度(H27)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 「ゆうゆう大学」在校生や「家庭教育講座」準備委員（保護者）に各種情報を提供した。 生涯学習専門員が、生涯学習等に関する研修会に参加した。 	④今後の改善計画	生涯学習の相談に応えられるよう、職員としての資質向上を図るため、職員の各種研修会への参加機会を増やし、その学びの情報を共有する。